

	遺伝医学セミナー	10	ロールプレイ2回 (SGM シール)
	遺伝医学セミナー入門コース	8	
	遺伝カウンセリング研修会	12	ロールプレイ5回 (受講証に印)
	遺伝カウンセリングアドバンストセミナー	8	ロールプレイ2回 (受講証に印)
	家族性腫瘍セミナー (*同一年度に2回開催。 ただし内容は同じなので、参加単位・ロール プレイは1回参加分のみ。)	8	ロールプレイ2回 (修了証)
	臨床細胞遺伝学セミナー	8	ロールプレイ1回 (シール) ロール プレイは2016年で終了
	日本先天代謝異常学会セミナー	*5 (8)	
	遺伝カウンセリングロールプレイ (GCRP) 研修会	3	ロールプレイ2回 (受講証に印)
		7	暫定制度利用の合格者。ロールプレイ 2回 (要受講証に印)
	東北遺伝医学セミナー	1	
	臨床遺伝情報検索講習会 (2017年第12回より 認定)	3	
	その他、委員会が認めた研修会参加 (事前に委員会への申請・承認が必要)	別紙	
業績発表	** 日本人類遺伝学会および日本遺伝カウンセ リング学会での一般演題の筆頭演者および corresponding author ただし指導医資格のない専門医は筆頭演者のみ	3	演題毎
	** 他学会での遺伝医学に関連する演題発表	5	<u>学会プログラム・演題抄録 (コピー 可)</u> を添付し、委員会で適切と認めら れた場合に単位を認定する。(例: 日本 小児科学会、日本産科婦人科学会、日 本神経学会で遺伝医学に関する演題を 発表する場合等) (演題毎)
	臨床遺伝関連学会での特別講演、教育講演、シ ンポジウム、セミナー・研修会の筆頭演者およ び corresponding author ただし指導医資格のない専門医は筆頭演者のみ ※セミナー・研修会のファシリテーターは対象 としない	5	各行事毎
	査読制度のある学術専門誌へ筆頭著者あるいは corresponding author として遺伝医学関連論文 が掲載されること	8	遺伝医学に特化した雑誌ではなくても、 執筆内容が遺伝医学に関連したもので あれば認める。
	査読制度のある学術専門誌へ筆頭著者や corresponding author 以外のその他の著者と して遺伝医学関連論文が掲載されること	3	遺伝医学に特化した雑誌ではなくても、 執筆内容が遺伝医学に関連したもので あれば認める。
遺伝医療の実践	適切な遺伝医療の実践	必須 30	遺伝医療を行った15症例のリスト。 そのうち、3症例の詳細も提出
	遺伝カウンセリングの実践	最大 20	症例の要約。1症例につき2単位とす る。10症例まで記入可。(適切な遺伝 医療の実践との重複不可)

- **・指導医資格のない専門医が更新の場合は筆頭演者のみ加算（共同演者は加算不可）。
- ・指導医更新の場合は **Corresponding author** も加算可。

委員会が認定したその他の臨床遺伝関連学会・研究会・セミナーは随時追加していく予定。
随時、臨床遺伝専門医ホームページの「専門医資格更新のための研修と単位数一覧」を確認すること。